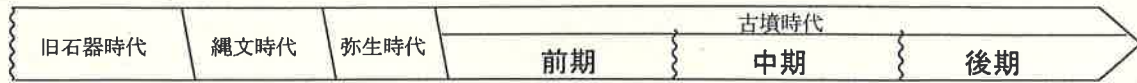


古墳の出現 P.19~;『ゼミナール』P.6~8

1. 古墳時代とは [図表P.42②]

[時期] 3世紀後半~7世紀



[前期] ~ 世紀 / [中期] 世紀 / [後期] 世紀 ~ 世紀

☆弥生時代とは異なる大規模で独特な形状の古墳(1)が出現 [図表P.42①]

→特に大和地方(奈良盆地)に集中することから2 政権と称される政治連合の形成

2. 前期古墳の特徴

① 4 や粘土槨^{ねんどかく} [図表P.42] に木棺や石棺を埋納

②表面には単純な筒の形をした5 が並べられる。 [図表P.44①A]

③副葬品としては銅鏡・玉など^{呪術的なもの}が多い。(鉄製農具もある)

《テーマ》「三角縁神獸鏡」 [図表P.44②A]

神像や靈獣が表現され、縁が三角形の山型にかたどられた鏡。前期古墳から最も多く出土するが弥生時代後期の遺跡からの出土例もある。 [図表P.41③]

Q1. 三角縁神獸鏡が特に注目される理由とは?

(1) 『魏志』倭人伝に次のような一節がある。

其の年(景初三年)十二月、「…今汝を以て親魏倭王となし、金印紫綬を假し、^{そりふう}装封して帯方の太守に付し^{けじゆ}假授せしむ。…又、特に汝に…白絹五十匹…銅鏡百枚…を賜い、(中略) 悉く^{ことごと}以て汝が國中の人に示し、国家汝を哀れむと知らしむ可し。…」

(景初三年(239年)「…今、あなたを『親魏倭王』となし、金印紫綬をさずけ、封をして帯方郡の長官にことづける。…また、とくに汝に…白絹五十匹…銅鏡百枚…を与え、それらの下賜品のすべてを汝の国民に示して、わが国が汝をいつくしんでいることを知らしめよ…」)

(2) 三角縁神獸鏡は国内で500枚以上見つかった。

(3) そのなかには「景初三年」(卑弥呼が銅鏡百枚を与えられた年)と刻まれたものがある。

A1. が魏の皇帝から下賜された「銅鏡百枚」との関連が考えられるから。

※ パソコンで「確認」プリントを表示すると、一部の空欄赤字がきちんと表現されないという事象がありました。その場合、それを印刷するか、またはスマホで表示すると正しく表示されるようです。

※ 舟入高校専用ホームページで日本史のプリント番号がずれている場合が発生していますが、これはさまざまな先生方の連携によりプリントをアップする際に、ちょっとした変換ミスが起こっているようです。生徒の皆さんは「ずれてるなー」と思いながらも、大きな支障がなければ自分でうまく対処してください。

まず基本は図表P42図の一覧表です。
ここで特徴をつかんで学習し、学習の終わりは
ここに戻って整理を行きましょう。

図表P.42②

図表P44①

(弥生時代の特殊器台という不思議な物体です。青備地方(岡山あたり)も出雲地方と並ぶ特別なエリアです。)

図表P44②A

(中期以降に出現する図P44②Bと見比べてみましょう。その品からどんなリーダー像がみえてきますか?)